

2014 年度 事業計画書

2014 年 03 月 27 日

2014年度 事業計画書

1 2014年度の基本方針

一般財団法人リプレット基金事業財団（以下財団）は、2010年12月6日の設立から2014年度に5期目を迎える。2013年度は基幹事業である、「児童養護施設への自転車の寄贈事業」を定着させるよう、自転車贈呈式を各地域で実施した。寄贈地域の新聞に贈呈式の記事が掲載され、対外的に活動をアピールすることができた。また、リプレットレポートを発行し、活動報告を支援者・関係者向けに行った。

2014年度は、自転車の寄贈エリアの拡大及び寄贈台数の安定化を図り引き続き寄贈エリアでの自転車贈呈式を実施する。また、寄贈先の児童養護施設等から寄贈した自転車の利用状況等を把握し、活動レポート等で情報発信を行い、基幹事業の更なる定着及び、財団の原資である賛同者の寄付金及び法人会員収入の増収につなげたい。また、他団体からの助成金申請を積極的に行い、併せて運営の基盤強化に努める。加えて日本赤十字社、NPO法人オペレーション・スマイル・ジャパン、社会福祉法人日本介助犬福祉協会への支援も引き続き行いより深い連携を進める。

以下に事業計画の概況を提示する。

2 事業計画概況

●財団は独自の基幹事業として「児童養護施設への自転車寄贈事業」の遂行を継続する。同事業を実施してから累計で、寄贈先児童養護施設275施設、寄贈自転車台数439台を数える。（詳細については2013年度定時評議員会の事業報告書にて報告予定）また、既に自転車を寄贈した施設にアンケートを配布し、自転車の利用実態等を追い、一般的にはあまり知られていない児童養護施設の現状をリプレットレポート等に載せ、対外的にアピールをしていくことで、社会の関心を集めるとともに財団の知名度を上げていくよう努める。

・2014年度自転車寄贈事業計画概要

2014年度は全国7地域、全74施設、自転車台数100台と設定する。

（1施設につき最大2台を目標）

自転車購入単価は20,000円（送料防犯登録料含）とし、

2014年度自転車総購入費は2,000,000円とする。

（次ページ表1を参照）

表1) 2014年度 児童養護施設自転車寄贈予定

配布時期	施設数計	配布数計	配布エリア	施設数	台数
2014年度 第1回 (4月～5月)	10施設	20台	新潟県	5	10
			福井県	5	10
2014年度 第2回 (6月～7月)	32施設	32台	埼玉県	22	22
			岐阜県	10	10
2014年度 第3回 (8月～9月)	8施設	16台	和歌山県	8	16
2014年度 第4回 (10月～11月)	10施設	10台	北海道	10	10
2014年度 第5回 (1月～2月)	14施設	22台	鹿児島県	14	22
合計	74施設	100台			

●基金拡大のための賛同者の募集及び募金の促進

- ・基本方針にも掲げたが、当財団の活動の原資は複数の賛同者の寄付によるものである。活動をより活発化させるには原資の拡大と安定が重要であることから、賛助会員の募集を図り増収を図る。個人寄付者に対して感謝状を発行することで賛同者の拡大を図りたい。併せて助成金を公募している団体に積極的に助成取得を申請し、事業の安定遂行の基盤とする。

●環境保護活動の参加及び意識の向上

- ・環境保全の大切さや地域活動への参画意識を高めることを目的に、地域の清掃活動や河川の清掃活動等へ参画し、環境保護活動への意識向上を計る。

3 財団の法人格における展望

公益財団法人化に向けて、今年度の実績を踏まえ公益法人として必要な財務状況等を更に精査した後、将来的な公益財団法人化への申請を目標に申請手続き準備を引き続きすすめ、財団運営強化をすすめる。